

参加費無料

令和7年度公民館東分館成人教育事業市民講座

野川流域では、旧石器時代の遺跡が数多く発掘されています。
2万年以上続いた旧石器時代とは、どのような時代だったのでしょうか。

氷河期の終わりという大きな気候変動を経て、人々の暮らしや環境はどのように変化していったのか。本講座では、講義と国際基督教大学の敷地から出土した考古学資料の見学を通して、旧石器時代から続く人々の暮らしと野川流域の変遷を学びます。



安芸早穂子画

大昔の野川流域と 国際基督教大学の遺跡



10/25
(土)

旧石器時代から縄文時代へ

～道具から推測する環境と暮らしの変遷～

11/8
(土)

国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館の見学

日時 第1回 10月25日(土)
第2回 11月8日(土)
いずれも午前10時～正午(全2回)

場所 10/25 公民館東分館学習室A・B
11/8 国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館

講師 林 徹さん(国際基督教大学講師)

国際基督教大学教養学部卒、同大学院比較文化研究科(当時)修了。専門は先史考古学。特に日本とポリネシアの石器・漁撈文化。環境適応の観点からイースター島の歴史解明にも取り組む。内外各地の遺跡を発掘調査。ICUでは講義のほかに発掘実習も指導。

定員 35人(多数抽選)

対象 小学生以上の市内在住・在勤・在学の方
ただし小学生は保護者同伴

応募方法 9月16日(火)から9月29日(月)
(必着)までにEメールまたは往復はがき(1人1通、小学生は1家族1通)に、住所、氏名(ふりがな)、年代または学年、電話番号を明記し、公民館東分館「大昔の野川」係へ送付。Eメールで申込後3日以内に確認メールを送ります(土日祝除く)。メールが届かない場合、電話にてお問合せ下さい。